

## 製品安全データシート

整理番号: Ae901

作成日 2004年 4月 1日

改訂日 2004年 12月 20日

### 1. 製品及び会社情報

製品の名称: リブタイト(主剤)夏用

会社名: 積水化学工業株式会社

住所: 〒105-8450

東京都港区虎ノ門2-3-17

電話番号: 03-5521-0552

製品のコード: Ae901

ファックス番号: 03-5521-0557

### 2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物製品

化学特性

ビ<sup>\*</sup>スフェノールA型液状エポキシ樹脂\* 30-40%

充填剤 55-65%

酸化チタン 1-5%

シリカ 1-5%

注1) \*印は、P R T R 該当物質

### 3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性: 該当なし

特定の危険有害性

主要な徴候: 通常取り扱いでは、有害性は低いと予測される。眼、皮膚、呼吸器に刺激する可能性がある。

製品の分類: その他の有害性物質

### 4. 応急措置

大量に吸入した場合: 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、保温して安静を保つ。

必要に応じ、医療処置を受ける。

皮膚に付着した場合: 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ、触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹸を用いて良く洗い落とす。

目に入った場合: 清浄な水で最低15分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。洗眼の際、瞼を指で良く開いて瞼・眼球の隅々まで水が良く行きわたるように洗う。

飲み込んだ場合：すぐに医師の手当てを受ける。もし、被災者が意識不明やけいれんを起こしている場合には、口から何も与えてはならない。

## 5. 火災時の措置

消化剤：粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂 等

特定の消火方法：初期の火災には、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を用いる。大規模火災の際には、泡消化剤などを用いて空気を遮断することが有効である。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：大量に漏出した場合、風下の人を退避させる。付近の着火源となるものを、速やかに取り除く。消火機材を準備する。作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業しない。少量の場合、漏洩液はおがくず、ウエス、砂などに吸収させ空容器に回収する。火花を発生しない安全なシャベル等を使用するのが望ましい。

環境に対する注意事項：流出物を河川などへ排出しないように注意する。

回収：この際に生じた廃棄物は全て密封し、産業廃棄物として所定の方法で処分すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

##### 取扱者の暴露防止

- ・必要に応じ、保護具（保護メガネ、防毒マスク、保護手袋など）を用いる。
- ・取り扱い後は、手、顔などの十分な洗浄を行う。
- ・火気、静電気、衝撃火花などによる着火原を生じないようにする。
- ・液状、気状の漏洩の防止。漏洩したときは速やかに除去する。

#### 注意事項

- ・開封して使用する際は、局所又は全体換気設備の設けられた場所で行う。

#### 安全取扱い注意事項

- ・火気、静電気、衝撃火花などによる着火原を生じないようにする。
- ・液状、気状の漏洩の防止。漏洩したときは速やかに除去する。

### 保管

技術的対策：保管の際は、直射日光、水分の混入、高温物の近くを避け一定の保管場所を決めて保管する。(保管場所の床はコンクリート等で不浸透性にして下さい。)

混触禁止物質：硬化剤成分等に相当するもの及び強酸、強アルカリ酸化剤

安全な容器包装材料：金属容器で密閉可能な容器

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策: 密封された装置、機器、囲い式またはブース式局所排気装置を設置した場所で取扱いを行なう。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄の為の設備を設ける。

### 保護具

呼吸器の保護具: 防毒マスク

手の保護具: 保護手袋

目の保護具: 保護メガネ

皮膚及び身体の保護具: 長靴、不浸透性の前掛け

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的状态

形状: パテ状

色: 白色

臭い: 微臭

pH: データなし

物理的状态が変化する特定の温度・温度範囲

引火点: データなし

爆発特性: データなし

密度: 1.7

溶解性: 水にほとんど不溶

## 10. 安定性及び反応性

安定性: 通常の乾燥した大気状態下では安定しているが温度が上昇したり異物が混入した場合には反応を起こすことがある。

危険な反応: 硬化剤成分等に相当するもの及び強酸、強アルカリ酸化剤の混入で反応する可能性がある。

危険有害な分解生成物: データなし

## 11. 有害性情報

急性毒性: 主成分エポキシ樹脂のLD<sub>50</sub>は、11g/kg(ラット・経口)である。

局所効果: データなし

感作性: 弱い刺激性を有する。

変異原性: ビスフェノール型液状エポキシ樹脂については、労働省の有害性調査の結果、微生物を用いる変異原性試験及び哺乳類培養細胞を用いる染色体異常試験の2種類の変異原性試験で所定の基準を超える変異原性が認められており、<sup>1)</sup>健康障害を生ずる可能性がある。労働省指針<sup>2)</sup>に定める措置をとる必要がある。

## 12. 環境影響情報

環境影響、挙動及び運命に関する情報

現在のところ知見なし。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、引火性のある液体に関する一般的な注意事項による。公的機関の承認を受けた産業廃棄物取り扱い業者に依頼して処理を行う。自社での適切な処理、公認の産業廃棄物処理業者への委託以外の処理は行わないで下さい。

地上投棄や埋め立ては絶対行わないで下さい。

汚染容器・包装：公的機関の承認を受けた産業廃棄物取り扱い業者に依頼して処理を行う。自社での適切な処理、公認の産業廃棄物処理業者への委託以外の処理は行わないで下さい。地上投棄や埋め立ては絶対行わないで下さい。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去後処分する。

## 14. 輸送上の注意

輸送に関する情報：取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、引火性のある液状に関する一般的な注意事項による。漏洩を避けるため、高所からの落下、転倒、衝撃などを避けて下さい。事故が発生した時は、直ちにラベル表示者まで連絡を取って下さい。

## 15. 適用法令

法規制

消防法 非該当

労働安全衛生法

通知対象物質(第57条の2) 酸化珪素、シリカ

変異原性が認められた物質 ビスフェノールA型エポキシ樹脂

化学物質管理促進法(PRTR法) 第1種指定化学物質(政令番号30:ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂)

## 16. その他の情報

・含有する原材料のMSDSに基づき本MSDSを作成しています。

・「エポキシ樹脂・硬化剤 正しい取り扱いの手引き」(管理者用、社業者用)発行エポキシ樹脂技術協会

危険、有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分に注意願います。

本データシートは、一般的な工業的用途について「製品の適正な取扱い」を確保するための参考情報として提供するもので、製造者の保証書ではありません。現時点で信頼し得ると考えられる資料並びに測定等に基づき作成したものであります。ご需要家各位は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な措置をお取り下さるようお願い致します。